

群馬県内・冬山情報

- 冬山は、急激な気象の変化、大雪、雪崩など厳しい自然条件下にあります。自分の体力、技術、経験に応じた山を選ぶとともに、経験のあるリーダーを伴うなど、無理のない計画で行動しましょう。
- 事前に気象情報や登山コース、危険箇所等を十分に確認しておきましょう。
- バックカントリー（ゲレンデ以外の場所）において、スキーやスノーボードで滑走中、雪崩との遭遇、立木への衝突、道迷い等の遭難が多く発生しているため、雪崩発生の危険性が高い場所などを避けるなど、十分注意しましょう。
- 単独登山はなるべく避け、家族や職場に、登山コースや帰宅時間、非常時の連絡方法等を告げ、登山計画書や登山届も提出しましょう。
- 携帯電話等の通信手段を確保するとともに、ヘッドライトや防寒具など、必要な装備品を必ず携行しましょう。
- 天候が急変したときや予定時間を遅れた場合は、直ちに下山するよう心掛けましょう。

山(系)名	標高(m)	ワンポイントアドバイス
尾瀬 至仏山 (日本百名山)	1,400 2,228	<ul style="list-style-type: none"> ● 尾瀬周辺のほとんどの山小屋は、10月中には営業を終え、閉鎖となり、長い冬を迎えます。 ● 尾瀬に通ずる道路は、11月上旬～翌年5月上旬にかけての期間、その多くが冬期閉鎖されます。 ● 冬期における登山に際しては、防寒対策など十分な装備を整えるほか、事前の気象情報を確認することが重要です。 ● 山頂～山の鼻間は、標高差800mの急勾配です。 同区間の登山道は、環境保護のため、<u>登り専用が呼びかけられています。</u> ● 至仏山は、滑りやすい蛇紋岩<small>じやもんがん</small>が多いため、特に下山時には、細心の注意が必要です。 ● 平成28年2月、2名の登山者が悪天候から死亡する事故が発生しています。スキー登山を含め、事前に気象情報を確認し、荒天が予想される場合は、登山を控えてください。
谷川連峰 (谷川岳) (日本百名山)	1,963	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>群馬県谷川岳遭難防止条例に定める冬山期間中（12月1日から翌年2月末日までの間）は、「危険地区」に登山しないよう自粛してください。（前記期間中、群馬県谷川岳登山指導センターは閉所となります。）</u>なお、冬山期間以外において、「危険地区」に登山される方は、登山しようとする10日前までに、群馬県谷川岳登山指導センターに登山届の提出が必要です。届出をしないまま、危険地区に登山した場合は、条例に基づき罰則が科せられることがありますので注意してください。 詳しくは、群馬県谷川岳登山指導センター（電話0278-72-3688）若しくは同センターホームページ<small>（http://www6.ocn.ne.jp/~tozan-ce/index.htm）</small>で確認してください。 ● 国道291号線「ロープウェイ駅～一ノ倉沢」間は、11月19日

		<p>から5月24日までの間、冬季閉鎖中です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 谷川岳の気象は、大陸からの影響を強く受け、局地的に低気圧ができやすいことから、大雪、降雨、濃霧となる場合が非常に多く、天候も急変しやすい場所ですので、登山に際しては、事前の気象情報の確認や十分な装備を準備してください。 ● 最近では、スキー登山者が増えていますが、積雪期には雪崩が起きやすいため、危険な場所へは絶対に立ち入らないでください。 ● 平成30年1～2月にかけて、一ノ倉沢・西黒尾根等で、吹雪による悪天候からの行動不能や雪庇の崩落に巻き込まれるなどの事故が5件発生しています。冬山登山に際しては、事前の天候を確認し、無理な登山は控えてください。
日光白根山 (日本百名山)	2,578	<ul style="list-style-type: none"> ● 日光山地一帯は、谷川岳と同様気象の変化が激しい場所です。入山にあたっては、防寒対策など十分な冬山装備を準備してください。 ● 金精道路は、12月25日から、翌年4月25日までの間、丸沼スキー場から金精トンネル（栃木県境）までの間が、冬期閉鎖となります。 ● 平成20年1月栃木県側から入山した男性登山者4名が、悪天候と疲労から遭難し、うち1名が死亡する事故が発生しており、また、平成29年2月、悪天候から登山者1名が行方不明となっています。 登山に際しては、経験のあるリーダーのもと、安全な登山を心掛けてください。
ほたかさん 武尊山 (日本百名山)	2,158	<ul style="list-style-type: none"> ● 標高2,158mの沖武尊を最高峰に、家ノ串、剣ヶ峰、前武尊などの峰々をもっています。 ● 沖武尊、前武尊、中ノ岳はともに標高が高いことから、天候の急変に備えた防寒対策は欠かすことができません。また、入山に際しては、コースや所要時間等について事前に確認しておくことが必要です。無理をせず、天候の急変や予定時間が遅れた場合には、直ちに下山するよう心掛けてください。 ● 近年、スキー登山者が増えていますが、新雪の中でのコース誤りから遭難するという事例が多く見られますので、無理な行動は厳に慎んでください。 ● 平成28年1月及び29年3月に、バックカントリースキー中の登山者が、雪崩に巻き込まれ死亡する事故が発生し、また、平成29年2月に、5人パーティーの登山者が、悪天候からホワイトアウトとなり救助要請する事案が発生しています。入山に際しては、コース確認を十分に行い、細心の注意をしてください。
すかいさん 皇海山 (日本百名山)	2,144	<ul style="list-style-type: none"> ● 群馬県側からの登山口は皇海橋です。 ● 利根町追貝から、皇海橋に通ずる栗原川林道は、現在通行可能となっていますが、悪路であるため、突然の降雨等により車両通行止めとなりますので、事前の確認が必要です。

		道路状況の詳細は、事前に沼田市役所利根町振興局（電話0278-56-2111）で確認してください。
赤城山系 (日本百名山)	1,828	<ul style="list-style-type: none"> ● 赤城山は県中央部に位置し、最高峰の黒檜山(1,828m)をはじめ、駒ヶ岳、薬師岳などの外輪山のほか、中央火口丘の地藏岳、長七郎山、鍋割山、鈴ヶ岳等で形成されています。 ● 過去の遭難事例を見ると「コースを外れての道迷い」がそのほとんどです。低山といえども、入山に際しては、地理に詳しい人などの同行やコースの事前調査を忘れないでください。 ● 冬型の気圧配置の場合、山頂付近は雪となるおそれがありますので、事前に気象情報を十分確認してください。 ● 平成29年3月、日帰り予定の男性登山者が、急斜面を滑落して怪我をする事故が2件発生し、ヘリコプターで救助されています。
草津白根山 (日本百名山)	2,171	<ul style="list-style-type: none"> ● 白根山、本白根山、逢の峰等の一帯を総称して草津白根山と呼称します。 ● 草津白根山は活火山であり、白根山（湯釜付近）は現在「噴火警戒レベル2」として、湯釜火口から1km以内の立入が禁止され、また、本白根山は、本年1月に噴火したため、「噴火警戒レベル2」として、火口から1km以内の立入が禁止されています。 ● 冬期は強風で粉雪が吹き上げられ、視界が全くきかない状況が多発することがありますので注意が必要です。 ● 硫化水素ガスが噴出する危険個所には、立入禁止措置がとられています。中には絶対に立ち入らないでください。 ● 長野県の志賀高原に通ずる志賀草津道路は、11月15日から翌年4月19日まで冬期閉鎖されます。
あずまやさん 四阿山 (日本百名山)	2,354	<ul style="list-style-type: none"> ● あずま屋のように、四方に張り出した尾根を持つことから、四阿山と名付けられたこの山は、上信国境にあり、浅間、黒斑に次ぐ高峰で、吾妻山とも呼ばれています。 ● 登山口は、群馬県側に鳥居峠、バラキ湖、野地平と三ヶ所あります。 ● 冬期は、深い積雪が予想されるため、初心者による登山は控えてください。 ● 平成30年2月には、冬山トレッキングの男性が、悪天候からコースを見失う事故が発生し、低体温症で重症となる事故が発生しています。入山に際しては、十分なコース確認を行うなど、細心の注意をしてください。
浅間山 (日本百名山)	2,568	<ul style="list-style-type: none"> ● 浅間山は日光白根山に次いで群馬県第二の高山で日本有数の活火山でもあります。 ● 現在、噴火警戒レベルは「1」で推移し、山頂火口から概ね500m以内は立入り禁止となっていますので、絶対近づかないでください。
妙義山系	1,104	<ul style="list-style-type: none"> ● 白雲山、金洞山、金鷄山の三山を表妙義、中木川左岸の山

塊を裏妙義と呼んでおり、山域は富岡市妙義町、下仁田町、安中市松井田町の2市1町に位置しています。

- 高さこそ1,100mほどの山ですが、急峻で谷が深く、岩場が多く、入り組んでおり地形が複雑です。このため、県内においては谷川岳の次に遭難事故が多く発生していますので、登山する場合は、事前にコースをよく理解しておき、危険な岩場に立ち入ったり、安易に道はずれ沢等に入らないことです。
- 上級者コース等の危険な岩場に安易に立ち入り滑落や行動不能となり、また、遅い入山のため日没を迎えるなどにより救助要請が行われる事故が発生しています。技術や装備のない登山者は危険な岩場には絶対に立ち入らず、早め早めの行動を心掛けてください。

※ 金鷄山は現在入山禁止、また、「星穴岳」については登山禁止となっています。

※ 中間道は登山道崩落により、現在通行禁止の措置がなされており、詳しくは、富岡市役所観光おもてなし課（電話（0274-62-1511）で確認してください。

谷川岳危険地区図



